

開かれた  
議会へ

# ようこそ！ かけがわ議会報告会へ



2023年 掛川市議会



# 二元代表制

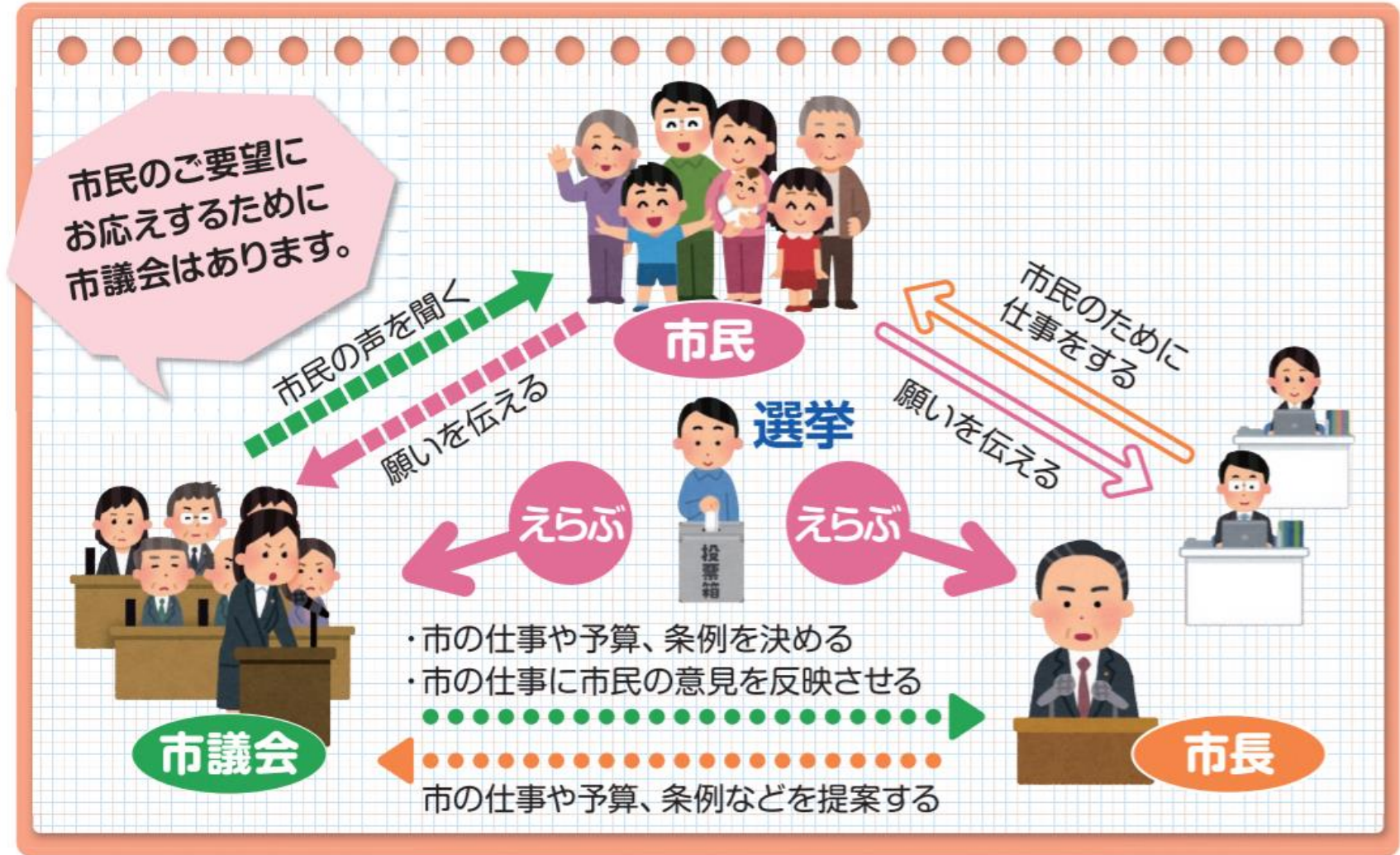


議会の役割

決める

チェック

提案



1 議会運営委員会（委員7人、任期2年）

2 常任委員会（各委員会7人、任期2年）



総務委員会



市の基本となる計画、まちづくりや消防、上下水道

環境産業委員会



商工農業など産業全般と道路や公園、環境、ごみ

文教厚生委員会



健康、福祉、教育

委員会

3 予算決算委員会（議長を除く全議員、任期2年）

4 特別委員会（各委員会7人、任期：調査・研究終了まで）

議会だより、広報広聴、議会改革

# 出前講座



議員が出向き、議会の役割・仕組み等説明



グループワークによる意見交換

議会への理解や関心を高めていただき  
ご意見ご要望を伺います



何だろう？



ここ↓



# 政策提言の流れ

各常任委員会で市の課題を調査研究



議会報告会にて市民へ中間報告



全議員で政策討論会を開催



市議会から市長へ政策提言提出



## 提言

# これまでの政策提言

- 令和4年度：市の持続的な成長のために／新しい学校施設のあり方
- 令和3年度：広域連携について／子どもの貧困対策
- 令和2年度：公共施設マネジメントのあり方について
- 令和1年度：  
掛川市の都市づくりと地区自治組織のあり方について／  
掛川の森のあり方や活用方法を考えた再生可能エネルギー推進
- 平成30年度：日本一防災意識の高いまち掛川を目指すための提言
- 平成29年度：健康日本一に向けての提言



提言

# 令和4年度の政策提言



～掛川市のこれからの持続可能な成長のために～

- 1 急速に変容する地域社会・地域自治を取り巻く環境に対応するため、責任部署を定め、持続可能な地域社会の姿と行政のあり方を明確化し、改革に取り組むこと。
- 2 地域共生を念頭に置き、移住定住希望者への支援と受け入れる側の支援を拡充すること。
- 3 外国人居住者に対して、市の対応を充実させ、NPOを含め、地域共生を推進すること。また、外国人居住者比率の高い南部地域については、支所に通訳者の配置など体制整備を図ること。



# 提言

## 令和4年度の政策提言



### ～新しい学校施設の在り方について～

- 1 学校再編計画の実施計画を進めていくにあたり、必ず地元合意を得ること。
- 2 選択肢のひとつとして、地域住民が利用できる共用ゾーンを設ける等、複合施設化することも検討すること。
- 3 校舎の老朽化や適正規模を踏まえ小中一貫校を新設してから、将来的な生徒数の減少に応じて段階的に再編していく方法も検討すること。
- 4 小中一貫校の施設形態となる、施設一体型・施設隣接型・施設分離型について、アンケート結果からも市民の理解は進んでいない。説明会や実例見学会等を通し、メリット・デメリットを理解できるよう努めること。
- 5 スクールバスが大きな課題である。天浜線や既存バスなどの活用を十分に検討し、市内で不公平感のない計画とすること。

## 条例

# これまでの議員発議の条例

- 令和5年：掛川市もったいないを合言葉に  
カーボンニュートラルを推進する条例
- 平成31年4月：掛川市防災意識の高いまちづくりを推進する条例
- 平成28年4月：掛川市健康医療基本条例
- 平成25年4月：掛川市議会基本条例



# 令和5年度 調査研究テーマ



総務委員会

上下水道のあるべき姿について

環境産業委員会

持続性の高い農業を目指して

文教厚生委員会

どうする掛川！少子化を食い止めるための支援のあり方

常任委員会の報告をご覧いただき  
ご意見をお寄せください！

政策提言に繋げて参ります

